

新型コロナウイルス感染症による奥三河地域の現状と対策、 そしてこれから

一般社団法人奥三河観光協議会事務局長 安彦 誠一

新型コロナウイルス感染症の感染拡大、緊急事態宣言における外出自粛要請により、全国的に観光業は大きな打撃を受けていますが、奥三河地域においても宿泊業・飲食店・体験施設や道の駅等で、営業自粛（休業、短時間営業）などを行っており、その影響は深刻なものとなっています。足もとではやや明るい兆しが見えてきてはいますが、今後奥三河観光協議会[※]では、将来を見据えた新しい観光施策を作成し、活動していきたいと考えています。



(協議会キャラクター)
こんがりゴヘー

※一般社団法人奥三河観光協議会

豊かな自然を生かした観光を育成し、定住条件の向上を目指すため奥三河の観光振興とあるべき姿を探るための諸活動を官民一体となって行っています。新しい独自の地域文化を創造するとともに広域交流を深め「観光と環境が調和したグリーンホリデーを演出する地域づくり」を推進しています。(2017年5月12日、日本版DMO候補法人として登録)

構成団体：新城市、設楽町、東栄町、豊根村、豊橋鉄道株式会社、一般財団法人茶臼山高原協会、東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、愛知県商工会連合会新城設楽支部、愛知東農業協同組合

1. 新型コロナウイルス感染症による奥三河地域への影響

(1) 主なイベントの中止等

新城ラリー(3月14～15日)	無観客開催
和太鼓「絆」交流プロジェクト(3月15日)	中止
しんしろ軽トラ市「のんほいロット」 (毎月第4日曜日)	3月以降中止 5・6月新城市民向けに「のんほい軽トラらんど」として開催 7・8月「のんほいロット」および「のんほい軽トラらんど」 ともに中止 9月より再開予定(主催者発表を参照ください)
新城さくらまつり(3月23日～4月9日)	中止

(2) 主な休業等の状況

①道の駅

もっくる新城(新城市)	4月16日～5月15日
つくで手作り村(新城市)	4月17日～5月15日、5月16～31日時短営業
豊根グリーンポート宮嶋(豊根村)	4月16日～5月22日
アグリステーションなぐら(設楽町)	4月20日～5月6日
つぐ高原グリーンパーク(設楽町)	4月11日～5月22日、キャンプ場は6月1日営業再開
鳳来三河三石(新城市)	4月18日～5月17日

この原稿は7月20日に開催した第4回中山間地域におけるまちづくり研究会においてご講演いただいた内容に基づいて寄稿いただいたものです。(事務局)

②宿泊施設

はづグループ（新城市、蒲郡市）	予約数を1/3に制限し密にならないよう配慮 「未来予約ギフト券」を発行
休暇村茶臼山高原（豊根村）	日帰り入浴を中止

③飲食店

愛知県より営業時間短縮要請（4/17～5/15）

ベックライミンデン（豊根村）	4月13日より臨時休業、6月5日通常営業再開
美術珈琲鳳来館（新城市）	4月25日～5月14日営業自粛

④体験施設

フォレストアドベンチャー・新城（新城市）	4月11日～5月22日営業自粛
naori 手作りコスメ体験（東栄町）	3月10日～5月31日営業自粛
奥三河蒸留所 蒸留体験・足浴（新城市）	4月26日～6月5日営業自粛

(3) 緊急事態宣言後も多くの来訪者で地元住民困惑

- ・屋外への来訪やマイカー観光への安心感等により、自然を堪能できる「鳳来寺山」「四谷千枚田」「乳岩」「きららの森」等が混雑。
- ・しかしながら、道の駅や飲食店の休業により、生ごみや缶・ペットボトルの散乱、所定の場所以外への駐車等、マナー違反が見受けられた。

2. 奥三河観光協議会の応援事業

(1) #奥三河エール飯（4/30～）

- ・当協議会公式ホームページにおいて、奥三河地域内（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）の店舗で、店舗の存続のため、テイクアウト等に取り組んでいる飲食店を紹介し、応援することを目的として公開。
- ・登録店舗は約80軒。店舗ならびに利用された方に、インスタグラムに「#奥三河エール飯」をつけて発信することを依頼し、約300件の投稿があり、約5,000件のアクセスがあった。



(2) 奥三河のお取り寄せエール特集 (6/16～)

・『遠くにいらっしゃる方にも奥三河を楽しんでいただき皆様を元気づけたい。』『観光客数が落ち込んでいる中、観光関連業のみなさまにエールを送りたい。』そのような思いから、奥三河の観光物産を取り扱うネットショップやECサイト、郵送対応店の情報をまとめて紹介するページを作成。



・美味しい自然が育んだ特産品からチェーンソーアートまで25軒を紹介。

(3) 巡って応援！食べて応援！「奥三河ぐるめラリー」開催（主催：愛知県商工会連合会新城設楽支部）

・短期間ではなく、長期間にわたって応援したいという思いから、愛知県商工会連合会新城設楽支部が主催となり、JA愛知東と連携し、「奥三河ぐるめラリー」を開催。このラリーは食とおもてなしの心をキーワードとし、奥三河への誘客を促進し、奥三河をPRする企画で、地元農家の応援する意図も含んでいる。



・参加店舗は奥三河地域111軒が参加し、キャンペーン期間(7/1～翌3/31)中に、対象の奥三河グルメを堪能し、25軒、50軒のスタンプを集めれば、先着でJA愛知東の商品券がもらえる。

・また、Instagramに「#奥三河ぐるめラリー」とつけて写真を投稿すれば、抽選で3名に鳳来牛サーロイン(5,000円相当)が進呈される。

<参考>関係機関の応援事業

○「#東三河お出かけエール」地域限定観光キャンペーン(6/20～7/19)(愛知県東三河広域観光協議会)

・新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けた東三河地域(豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市・新城市・設楽町・東栄町・豊根村)の観光事業者が、「元気のある東三河を取り戻していきたい」という思いのもと、魅力的でお得なプランを作り、東三河地域にお住まいの方を対象として展開するもの。



・キャンペーン参加店舗(47軒、うち奥三河18軒)の優待が受けられるほか、Instagramに「#東三河お出かけエール」とつけて写真を投稿すれば、抽選でプレゼントが進呈される。

3. 緊急事態宣言解除後の動向

(1) 奥三河への来訪者が復活

フォレストアドベンチャー・新城、奥三河蒸留所、naori、星空観察等の体験やハイキングなど奥三河各地に来訪者が復活。

(2) 30～40代のファミリー層が「古民家」を探している

テレワーク・リモートワークの影響と考えられるが、30～40代のファミリー層が奥三河で「古民家」を探している。ただし、東栄町はすでに物件がなく、大きすぎる屋敷に抵抗感を示されている。また将来的な子供の教育を考え、踏み切れないでいる。

4. 奥三河観光協議会：令和2年度事業計画

◆基本方針◆

未曾有の「コロナ感染症」における国、愛知県が発令した「緊急事態宣言」における不要不急の外出自粛要請で、全国的に観光業は、大きな打撃を受けており、当地域においても宿泊業、飲食店、体験施設や道の駅等の営業自粛、休業、短時間営業で、見通しが立たない現状である。やや明るい兆しが見えてきたものの、将来を見据えた新しい観光施策の作成、実行の重要なスタートの年として活動する。

具体的には、3月から取り組みはじめた「奥三河エール飯」「奥三河お取り寄せエール特集」等や、愛知県商工会連合会新城設楽支部、愛知東農業協同組合との連携事業で、「巡って応援！食べて応援！奥三河ぐるめラリー」を直近の事業として、新たにスタートさせた。

また、奥三河DMOの重要課題である「何度も訪れたい地域づくり」のため、「美と健康」をテーマとしたブランドである「okumikawaAwake (メザメ奥三河)」を柱として、トレイルラン、サイクリング、フォトロゲイニング、オリエンテーリング、フォレストアドベンチャープログラム等のスポーツ、naoriを中心とした体験メニューや宿泊施設、日帰り温泉施設、健康に結びつく食品、スキンケアオイル等の認知度をさらにアップするため、プロモーション活動に重点をおく。

このことは、「リモートワーク」や「テレワーク」が、一般社会に浸透してきつつある今日、奥三河地域にとってはピンチをチャンスに変える絶好の機会として、事態終息後すぐに企業、各種団体、大学等への提案ができるよう準備を進めていく。

また、「愛知県の星空の聖地奥三河」について、茶臼山高原（豊根村）、スターフォレスト御園（東栄町）、Caféのつきい（東栄町）、道の駅つぐ高原グリーンパーク（設楽町）、奥三河総合センター（設楽町）、学童農園山びこの丘（新城市）等での星空観察会開催の紹介とあわせ、経済効果を生み出す宿泊施設紹介、「奥三河の星☆干」（奥三河の地域内特産品である干したもの（乾物）＝地上の星）の販売を継続していく。

さらに、「ダムツーリズム（インフラツーリズム）」についても、各市町村と連携しながら、推進していく。

<愛知県の星の聖地“奥三河”☆干「星空観察案内サイト」>



<奥三河の星☆干>



(星干ブレンドティー)

本年は、国内需要の掘り起こしを重点施策とするが、インバウンド事業については、中長期を見据え、情報収集を怠らないようにする。

以上のように、本年の事業推進には、奥三河観光協議会幹事会やワーキングメンバー、各観光事業者や飲食店等と連携がさらに必要となってくる。

このような活動を「移住・定住」へ結びつけていけるよう高い目標をもって、活動していく。

(1) 地域活性化に関する企画および運営事業

- ①観光事業者への支援プログラム「奥三河エール飯」「奥三河のお取り寄せエール特集」「巡って応援！食べて応援！奥三河ぐるめラリー」の内容を充実し、集客を伸ばす。
- ②「okumikawAwake (メザメ奥三河)」の認知度をさらにあげ、奥三河ファンを増加させるためのプロモーションを強化する。
- ③奥三河再発見ツアーを継続実施する。
 設楽ダム工事見学や人気商品の旧田口線跡をめぐる「インフラツアーリズム」、美と健康をテーマとした体験プログラム、奥三河ぐるめラリー、ジオツアー等新しい切り口の商品を開発し、販売に結び付ける。
- ④公共交通機関を活用したプログラムを作成する。
 飯田線、新城名古屋藤が丘線（高速乗合バス）、豊鉄バス、Sバス（新城市コミュニティバス）、お出かけ北設（設楽町・東栄町・豊根村の3町村が共同で運行する交通システム（バス））など公共交通機関を使つてのモデルプランを作成し、ホームページ等で公開する。
- ⑤「(JR東海) さわやかウォーキング」「名鉄ハイキング」の誘致を下半期以降に行う。
- ⑥奥三河地域内星空観察等のイベントの企画、運営に協力していく。



(2) 連携事業

- ①愛知県、愛知県東三河広域観光協議会等と連携し、特に国内需要の掘り起こしを検討、共同で商談会、展示会へ参加する。
- ②愛知県商工会連合会新城設楽支部、愛知東農業協同組合との連携を強化し、東三河の顧客のリピーターを伸ばすための施策を検討、実行する。

(3) 情報発信事業

- ①毎月1回のワーキングで、「キラッと奥三河観光ナビ」のアクセス解析を行うとともに旬情報の提供をさらに進めるため、「特集ページ」に力をいれる。
- ②FM豊橋の奥三河PRコーナー（毎週土曜日午前10時から）に引き続き出演し、旬情報を提供していく。
- ③「地域応援プログラム」情報を記者ク



ブへの投げ込み、取材依頼に重点をおいて、発信する。

(4) 研究・検討事業

- ①「okumikawAwake (メザメ奥三河)」についてのプロモーションを充実する。
- ②「星☆干」商品の拡大と販売拠点の拡大をさらに進めていく。
- ③インバウンド事業について、全国的な動きに注意し、プロモーション活動の時期を模索する。

☆奥三河観光協議会としての今後の活動方針☆

奥三河の共通ブランド【okumikawAwake (メザメ奥三河)】をもっと広める
テーマは「心の美と健康に目覚める新しい旅の目的地」
ワーケーションに適している地域として、売り出していく!!!

* 課題は、情報通信機能をどう伸ばせるか？



okumikawAwake

ビューティーツーリズム@

愛知・奥三河。心の美と健康が目覚める、
新しい旅の目的地。

Okumikawa + Awake
(奥三河) (目覚める、呼び起こす)

1. 「okumikawAwake/ メザメ奥三河」とは

- ・奥三河（新城市・設楽町・東栄町・豊根村）が心と身体の健康が目覚めるような新しい旅の目的地として認知されることを目指すツーリストブランド。この地域でしか味わえない体験を提供していただける地元企業及び団体の参画を募り、本事業の趣旨に賛同いただいた事業者の活動を、奥三河らしさを伝えるデザインを用いて共同の広報活動を行うもの。

参画事業者：JA愛知東（新城市）、naori/ なおり（東栄町）、大崎屋旅館（東栄町）、奥三河高原ジビエの森（設楽町）、つくしんぼうの会（新城市）、東栄チキン（東栄町）、とよねチョウザメ ROYAL FISH（豊根村）、山の搾油所（設楽町）

2. 訴求対象

- ・ミレニアル世代＝Y世代（1980～95年に生まれた世代※）を主な対象。（※諸説あり。または1980～2000年に生まれた世代）
⇒10代の頃からインターネットに触れてきた世代。
⇒消費活動において中心的な世代。
⇒SNSを自由に使いこなし個々が情報の発信源に。

奥三河は、「週休4日」

出張ついでにちょっと自転車に跨り、山を走ってみる
歴史を学ぶ休暇。城址を訪ね、往時に思いを馳せてみる
山里で自分の内面の美と向き合い、明日からの仕事を楽しむ
澄んだ高原の空気に思いきり身を委ね、ふと仕事を忘れる

ちょっと思い切って、週休4日的な生き方を奥三河で実現。

3. 訴求点

(1) 奥三河＝「身近な秘境」

- ・豊橋を起点に約1時間前後で到達できる身近な秘境・奥三河。各地域に繋がる路線バス網や整備された道路により、温泉、星空観察、湖や高原や森林、渓谷でのアクティビティがひとつの地域で楽しめる。
- ・また、日本の歴史の中で重要な出来事の舞台でもあり、祭りなどの伝統文化が独特で、旅する人の目的や趣向に合わせやすい。

(2) 出張も商談も奥三河で

- ・Bleisure（ブレイジャー）＝出張旅行＋観光旅行。仕事と生活の境界が曖昧となっており、その両方を楽しむ人が増えている。
- ・Sweatworking（スウェットワーキング）＝運動をしながら商談、人との関係づくり。
- ・Workation（ワーケーション）＝休暇も仕事も一緒に楽しむという過ごし方。

4. 奥三河でビューティーツーリズム[®] その過ごし方の提案 （「okumikawAwake /メザメ奥三河」パンフレットより抜粋）

(1) 美を探しに行く

○内面の美を探す「手作りコスメ」（東栄町：naori[®]/なおり）

自分の肌に直接つけるものなのに、意外と知らないコスメの原料。私たちが使っている普段よく使っているファンデーションの原料は、セリサイト（別名：絹雲母）という鉱物で、高品質なセリサイトは日本で唯一東栄町で採掘されているものです。naoriの「ビューティーツーリズム」は、手作りコスメ体験や鉱山体験など、コスメティックのルーツをきちんと知ることができる体験プログラム。懐かしい昭和の小学校の雰囲気を残す「のき山学校」で、基本となる配合をもとに、自分好みの色や成分の配合などを考え、世界に一つのコスメ作りに挑戦します。



○穏やかさと優しさに触れる「まゆ花」（東栄町：千代姫荘（まゆ花づくり体験））

「まゆ花」とは、生糸（絹）の原料となる蚕のまゆから作られたフラワークラフトです。まゆ花の魅力は、まゆの風合いからくる温かな表情。まゆはとても丈夫で扱いやすい素材なので、繊細な表現が得意で、とても素敵な作品に仕上がります。また、劣化しにくく鮮やかな発色のまま長く楽しめます。



○森の余韻を伝える癒しの「精油」

(新城市：奥三河蒸留所)

「自然」と「美」をテーマとした体験型施設。ここではエッセンシャルオイルの蒸留過程の見学や様々な香りコスメの製作体験、ヒノキの葉の足湯体験をすることができます。



(2) 心身を鍛えに行く

○森に魔法がかかる時間 フェスのようなトレイルレース

(新城市：DAMONDE TRAIL)

約2.5kmの特設コースを周回する3時間耐久のトレイルレースです。舗装されていない自然道を走りますが、アップダウンが少ないので、トレイルランニング初挑戦の方や初心者でも安心。仲間や家族で参加するクラスもあり、それぞれのペースでゴールを目指します。フェスのような楽しい雰囲気にあふれ、春・秋の年2回の開催を多くの人が待ちわびています。



○自然共生型アウトドアパーク

(新城市：フォレストアドベンチャー・新城)

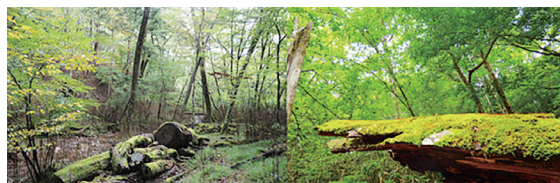
森の環境をそのまま利用して、空中を移動するように遊ぶフランス発祥のアウトドアパーク。自然の立木の上に作られた足場を、ワイヤーやつり橋をクリアしながらどんどん渡っていき、最後は長さ120mのジップライン！まるで鳥のように樹間を一気に滑走します。体力のあるなしにかかわらず楽しめるのが魅力です。



○心呼び覚ましに「森を聴く」

(設楽町：段戸裏谷原生林きららの森)

段戸山のほぼ中央に位置する130ヘクタールほどの段戸裏谷原生林は、樹齢200年以上のモミ、ツガなどの常緑樹とブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹が共生する県内最大級の天然林です。多くの野鳥や珍しい湿原植物が見られ、学術的にも貴重な国有林ということもあり、手つかずのまま残されている自然の美しさに癒されることでしょう。



○子供心を取り戻す「高原遊び」(豊根村：茶臼山高原)

愛知県と長野県の境に位置し、標高1,415メートルを誇る愛知県の最高峰・茶臼山。ここには「天空の花回廊」と呼ばれる芝桜の丘があり、毎年5月中旬から6月上旬に「芝桜まつり」を開催しています。夏はキャンプ場、冬はスキー場がオープンするほか、マウンテンバイク・ボードのレンタル、ドッグランも利用で

き、四季を通じてアウトドアスポーツを楽しむことができます。そして星の聖地・奥三河に来たら、是非夜にも外に出て星を眺めてみてください。南アルプスの眺望を楽しめる高原リゾートホテル「休暇村茶臼山高原」では、星空ウォッチングや野生動物観察ツアーも随時開催しています。

